

令和3年 能代山本広域消防 火災・救急件数

令和3年の火災件数は31件で、前年と比較すると14件の増加となっています。
救急件数は3,320件で、前年と比較すると253件の増加となっています。

①火災件数 () は昨年件数

能代市	19件 (11件)
藤里町	1件 (1件)
三種町	10件 (3件)
八峰町	1件 (2件)
合計	31件 (17件)

④火災原因 (図1参照)

火入れ	1件
たき火	2件
漏電	1件
ストーブ	3件
煙突	2件
電気配線	2件
たばこ	1件
圧力配管	1件
バッテリー	1件
コンデンサ	2件
排気管	1件
雷	2件
不明	2件
調査中	10件

⑤救急出場件数

能代市	2,236件
藤里町	151件
三種町	680件
八峰町	253件
合計	3,320件



②火災による死傷者

死者	2名
傷者	3名

③火災種別

建物火災	23件
林野	2件
車輻	3件
その他	3件

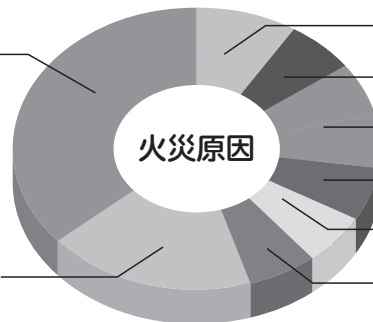
⑥救急事故種別

1 急病	2,309件 (69.5%)
2 一般負傷	443件 (13.3%)
3 転院搬送	238件 (7.2%)

図1

不明・調査中
12件 (39%)

火入れ・漏電・たばこ・
圧力配管・バッテリー・
排気管 各1件 (19%)



ストーブ 3件 (10%)

たき火 2件 (6%)

煙突 2件 (6%)

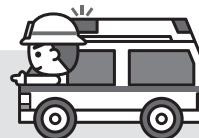
電気配線 2件 (6%)

コンデンサ 2件 (6%)

雷 2件 (6%)



救急車の適正利用のお願い



近年、全国で救急車の出場件数が増加しています。能代山本管内では令和3年に3,320件 (1日平均9.0件)の出場がありました。前年より253件増加し、ここ数年間3,000件を下回ることがありません。医療機関へ搬送された人数を見ますと3,050人で、そのうち約4割が入院を必要としない軽症と診断されています。

119番通報で救急車を要請すると、最も現場に近い救急車が出場し、最寄りの救急車が出場中の場合は、その次に近い救急車が出場します。緊急性のない救急要請が多くなると、救急車の到着が遅くなり、1分1秒を争う救急活動の障害になります。令和3年の能代山本管内では、通報から現場到着まで約8.5分を要しています。限られた救急車を適正に運用するためには皆様のご協力が必要です。

※AED(電気ショック)が1分遅れる毎に社会復帰率は7~10%低下すると言われています。

救急車は大切な命を守るため24時間対応します。
救急車を本当に必要とする人のために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問合せ 消防本部救急課 ☎52-3368